

平成 24 年度第 1 回「精神障害者地域移行推進部会」開催概要

- 1 日時：平成 24 年 5 月 23 日（水） 午後 6 時から 8 時 20 分まで
- 2 場所：千葉県庁 本庁舎 5 階 会議室
- 3 出席委員（総数 13 人中 12 人出席）
富沢部会長、寺田副部会長、池澤委員、岡田委員、奥山委員、木村委員、酒井委員、
白井委員、鈴木洋文委員、鈴木洋子委員、飛田野委員、山本委員
- 4 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 障害福祉課長あいさつ
 - (3) 議事
 - ① 部会長、副部会長選任
 - ② 第四次障害者計画改定について
 - ③ 保健医療計画の見直しについて
 - ④ 精神障害者地域移行推進部会の進め方について
 - (4) 閉会
- 5 議事結果概要
 - (1) 部会長、副部会長選出
 - ・ 事務局より、富沢委員を部会長に、寺田委員を副部会長に提案し、承諾された。
 - (2) 平成 24 年度部会スケジュールについて
 - ・ 改定された千葉県第 4 次障害者計画の進捗管理、千葉県保健医療計画の見直しのうち、精神障害者の地域移行に関する部分については両計画を連携させて行くことで了解された。
 - (3) 第 4 次障害者計画改定について
 - ・ 事務局より、改定された計画のうち、精神障害者の地域移行に関する変更概要を報告。
 - (4) 保健医療計画の見直しについて
 - ・ 事務局より、国で行われた見直しのための資料説明及び本県における見直しのための考え方やスケジュールを報告。
 - (5) 精神障害者地域移行推進部会の進め方について
 - ・ 今回の委員を中心のメンバーとし、議題に応じ適宜参加メンバーを増やしていくこととなった。
 - ・ なお、委員選定方法等については、委員の提案を踏まえ事務局で検討することとなった。
 - ・ 検討内容については、次回までに事務局で今回改正された障害者計画や部会で提起のあった項目を抽出・作成し、委員が優先順位を決定、優先順位の高いものから検討して行くこととされた。

6 議事

(1) 部会長、副部会長選出

(事務局)

- ・ 「精神障害者の地域移行に関する意見交換会」をまとめていただいていた、富沢前会長、寺田前副会長に部会長、副部会長になっていただくこととなった。

(2) 平成24年度部会スケジュールについて

- ・ 資料1の精神障害者地域移行推進部会のスケジュール案について事務局より説明。
(池澤委員)
- ・ この部会で話し合われていく内容が、予算等との関係もあるが、今後県の政策等にどの程度反映されて行くものなのか。
(事務局)
- ・ 新規事業については、予算的な面から、獲得は容易ではないが、計画に盛り込まれている内容を整理し、部会の意見を聞き事業化を検討して行きたい。

(3) 第4次障害者計画改定について

- ・ 資料2の第四次千葉県障害者計画の改定について、昨年度の意見交換会での意見が盛り込まれた点を事務局より説明。
(特に委員からの意見等はなく、引き続き計画の進捗管理を行っていくこととなった。)

(4) 保健医療計画の見直しについて

- ・ 資料3の保健医療計画(精神疾患)の見直しについて、国の説明会資料及び県が見直す方向性やスケジュールについて事務局より説明。
(富沢部会長)
- ・ 事務局の説明から、障害者計画を正面に見据えながら、横目で保健医療計画を見て、しっかり話し合っていくことが必要と感じた。
(木村委員)
- ・ 25年度予算に盛り込むスケジュールとしては、部会はどう動くべきか。
(事務局)
- ・ 夏から秋頃には項目を出し予算化に向けた検討に着手する必要がある、自立支援協議会の本部会においても同様の話がある。優先順位の高いものはそのころを目指して進めていく。

(5) 精神障害者地域移行推進部会の進め方について

≪構成委員について≫

(木村委員)

- ・ 委員の構成についてどのように考えているのか。
(事務局)

- ・ 昨年度からの委員をコアメンバーとし、当事者等はその都度必要な時に意見を頂きたいと考えている。
- ・ 委員の候補について意見があればあげていただきたい。

(池澤委員)

- ・ これまでの経緯等を理解していないと、テーマごとに入ってもらっても、的確な意見を発言するのは、難しいのではないか。

(鈴木洋文委員)

- ・ 当事者団体は精神保健福祉センター等の団体で把握しているのではないか。個人ではなく、団体に推薦してもらい、当事者団体としての意見をもらうのがいいのではないか。

(事務局)

- ・ 当事者及び家族の推進については、各団体を通じて推薦をしていただくこととする。
- ・ 具体的な方法については事務局で検討する。

《検討内容について》

(富沢部会長)

- ・ 今年度の活動内容について話し合いたい。
- ・ 優先的な課題を洗い出し、皆で共有し、予算獲得をめざしていくこととしたい。
- ・ テーマを既存の事業の充実と新規事業の検討を優先順位を含め考えたい。

(事務局)

- ・ 前年度の意見交換会の終了時、今後の課題として5つのテーマを確認している。
- ・ 地域移行に関する統計手法の開発、遠隔地入院者への対応方法、精神科病院に協力をもらえる仕組み、アウトリーチ活動、居住地確保の問題である。

(白井委員)

- ・ 入院している高齢者の問題についても検討していきたい。

(岡田委員)

- ・ 精神障害者の地域移行支援事業はこれまで補助金で行ってきたが、事業の一部が今年度より障害者自立支援法の指定相談支援として、個別給付化された。
- ・ 個別給付化された指定相談支援のうち、地域移行支援は、一定の費用負担が発生することから、利用に難色を示す方もいる。

(鈴木洋子委員)

- ・ 補助金として残った事業は、地域体制整備コーディネーターが、各障害保健福祉圏内で地域移行支援を行う関係機関のサポートをするものであるが、予算額は減額されたほか、支援を行う人材を育成する面でも課題がある。

(酒井委員)

- ・ 地域定着支援は、モニタリングのタイミングなどが明確になっておらず、現場は混乱しており、通常の基本相談支援で支援した方が書類の作成等の負担感もなく、いいのではとの話もある。今後、地域移行支援や地域定着支援の進め方などについても検討し、使いやすい形にしていく必要がある。

(寺田副部長)

- ・ 今回、相談支援の充実として、個別給付に地域移行支援や地域定着支援が盛り込まれたが、人材の育成や使いやすい制度としていくための検討については、相談支援部会でこれまで行ってきており、引き続き、相談支援部会で検討して行きたい。

(鈴木洋文委員)

- ・ 基本相談とか色々と言葉が出るが、福祉の用語やその概念がわかりにくい。

(富沢部会長)

- ・ 本日出していただいた意見を事務局でまとめていただき、次回に優先順位を決めていくということでどうか。

(事務局)

- ・ テーマについては、今回改定した計画の内容を整理するとともに、今回の意見を盛り込んだ資料を事前に事務局で作成、委員に確認する。
- ・ その中から優先順位を決め、優先順位の高いものから部会で検討して行くといった流れにしたい。